

岐阜工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	ドイツ語	
科目基礎情報							
科目番号	0067		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 2		
開設学科	電子制御工学科		対象学年		4		
開設期	後期		週時間数		4		
教科書/教材	中村修ほか『つながるドイツ語みっとりーべ』朝日出版社、2019年						
担当教員	亀山 太一,神谷 美砂子,中川 拓哉						
到達目標							
①単語を見て発音できるようになる。 ②格変化と人称変化を中心にドイツ語文法の基礎を理解する。 ③読解力の基礎を養成し、ドイツ語による基礎的なコミュニケーションのための準備をする。 ④ドイツ語圏の人々の生活、文化、習慣について知識と洞察力を得る。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
単語を見て発音できるようになる	単語を見て発音する問題を正確に解くことができる。		単語を見て発音する問題をほぼ正確に解くことができる。		単語を見て発音ができない。		
格変化と人称変化を中心にドイツ語文法の基礎を理解する。	学習対象とした基礎的な文法事項に関する問題を正確に解くことができる		学習対象とした基礎的な文法事項に関する問題をほぼ正確に解くことができる		学習対象とした基礎的な文法を理解していない。		
作文と読解力の基礎を養成し、ドイツ語による基礎的なコミュニケーションのための準備をする。	基礎的な文章理解、既習の単語を使って作文する問題を正確に解くことができる。		基礎的な文章理解、既習の単語を使って作文する問題をほぼ正確に解くことができる。		基礎的な文章を理解できず、既習の単語を使って作文ができない。		
ドイツ語圏の人々の生活、文化、習慣について知識と洞察力を得る。	ドイツ語圏、ひいてはヨーロッパの生活や文化に理解や洞察に関する問題を正確に解くことができる。		ドイツ語圏、ひいてはヨーロッパの生活や文化に理解や洞察に関する問題をほぼ正確に解くことができる。		ドイツ語圏、ひいてはヨーロッパの生活や文化に理解や洞察力を持つことができない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	初めてドイツ語を学ぶ学習者を対象とし、初歩的な語彙や文法を学ぶ。						
授業の進め方・方法	初めてドイツ語を学ぶ学習者を対象とした文法講読本を教科書として使用し、演習形式の授業を行う。						
注意点	毎回課題を課し、添削指導をする。添削結果を吟味し、理解を深めること。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	第 1 回: das Alphabet 学習の意義と目標 発音の基礎 基本的な挨拶 第 2 回: 自己紹介、動詞の規則変化、代名詞1格		アルファベット体系が理解できる。 テキストの読解ができる。代名詞、動詞の規則変化が理解できる。		
		2週	第 3 回: 定動詞第2位、動詞の規則変化 2、疑問文、否定文 第 4 回: sein、haben、数詞、疑問詞、曜日と月		疑問文・否定文が理解できる。 テキストの読解ができる。数詞・疑問詞が理解できる。		
		3週	第 5 回: 名詞の性、格 第 6 回: 定冠詞の格変化、不定冠詞の格変化		名詞の性、格が理解できる。 テキストの読解ができる。冠詞の格変化が理解できる。		
		4週	第 7 回: 復習、否定冠詞kein 第 8 回: 中間のまとめ		ここまでの学習内容、否定冠詞keinが理解できる。 これまでの学習内容を振り返り、重要事項等をまとめる。		
		5週	第 9 回: テストのフィードバック、ドイツの文化 第 1 0 回: 映画『グッバイ・レーニン』を見る。東西ドイツの分断について知る。		テストの重要ポイントが理解できる、ドイツの文化について知る。 ドイツの分断と再統合の歴史を理解する。		
		6週	第 1 1 回: 不規則変化動詞 1 第 1 2 回: 表現練習、不規則変化動詞 2、代名詞の格変化		テキストの読解ができる。不規則変化動詞が理解できる。 会話表現、不規則変化動詞 2、代名詞が理解できる。		
		7週	第 1 3 回: テキストの読解、前置詞 (1) 第 1 4 回: 表現練習、前置詞 (2)、ここまでの復習		テキストの読解ができる。前置詞 (1) が理解できる。 前置詞 (2) が理解できる。		
		8週	中間試験				
	4thQ	9週	第 1 6 回: テキストの読解、前期の復習 1 : 動詞の変化、構文 第 1 7 回: 表現練習、復習 2 : 冠詞・代名詞の格変化		テキストの読解ができる。動詞の変化、構文が理解できる。 冠詞・代名詞の格変化が理解できる。		
		10週	第 1 8 回: テキストの読解、助動詞 1 第 1 9 回: 表現練習、助動詞 2		テキストの読解ができる。助動詞が理解できる。 助動詞 2 が理解できる。		
		11週	第 2 0 回: テキストの読解、分離動詞 第 2 1 回: 表現練習、ここまでの学習内容の復習		テキストの読解ができる。分離動詞が理解できる。 表現練習、ここまでの学習内容が理解できる。		
		12週	第 2 2 回: 中間試験				
		13週	第 2 4 回: 表現練習、映画『舞姫』を見る。 第 2 5 回: テキストの読解、従属接続詞 1		日独の関係の歴史が理解できる。 テキストの読解ができる。従属接続詞が理解できる。		
		14週	第 2 6 回: 表現練習、従属の接続詞 2 第 2 7 回: テキストの読解、動詞の 3 基本形		従属の接続詞 2 が理解できる。 テキストの読解ができる。動詞の 3 基本形が理解できる。		

		15週	第 2 8 回：テキストの読解、現在完了 第 2 9 回：表現練習、ここまでの学習内容の復習		テキストの読解ができる。現在完了が理解できる。 表現練習、ここまでの学習内容を整理できる。	
		16週	期末試験 第 3 0 回：テストのフィードバック、ドイツの文化について			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル 授業週
評価割合						
			試験	課題	合計	
総合評価割合			400	200	600	
試験			400	200	600	